# 社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）帯広林業土木協会

| 活動内容 | 国見山自然観察教育林の遊歩道をボランティアで整備 |
|---|---|

１　実施年月日　：　令和３年１０月１４日（木）
２　実施場所　　：　北海道芽室町・音更町９国有林　国見山自然観察教育林
　　十勝西部森林管理署管内
３　参加会員数　：　十勝西部森林管理署　２名　芽室町　４名
　　会員企業及び事務局　　２５社３４名　　計４０人
４　活動内容：

十勝西部森林管理署は、道東の帯広市周辺に広がる約１４万ｈａの国有林を管理経営しています。

管内の国見山は、帯広市の北西約１０ｋｍに位置し、芽室町・音更町にまたがる低い丘陵で、十勝平野を拓いた依田勉三らが、この山から平野を見下ろし、開拓の情熱を燃やして、国見山と名付けたと言われています。この付近の国有林は、昭和４８年に自然観察教育林に指定され、現在でも豊かな自然が残されています。このため市街地に近いこともあって、近隣住民の憩いの場だけでなく、学童の遠足や自然観察などの場として幅広く活用されています。

当協会は、以前から国見山の整備に協力してきましたが、今回もボランティアで遊歩道の整備を実施しました。今回の活動には、当協会の会員のほか、国見山自然観察教育林管理運営協議会事務局でもある芽室町、十勝西部森林管理署からもご参加いただき、総勢４０名で実施しました。

作業に先立ち手島　旭芽室町長と佐藤泰弘森林管理署長から、作業への感謝のご挨拶をいただき、当協会の萩原一利会長から「国見山を訪れる方が安全に安心して散策できるようしっかりと整備したい」との挨拶を行いました。

今回の遊歩道整備では、経年利用により深くえぐれた木製階段のステップの凹凸を均すため、ウッドチップを運んで路面に敷均したほか、腐朽した手すりの交換も行いました。

当日は、紅葉が進む秋晴れのもと、多くの方が散策に訪れていましたが、作業中、散策をされる方々から感謝の言葉をかけていただきました。当協会は、今後とも地域の要望に応える社会貢献活動に取り組みたいと考えています。

活動写真

手島　旭芽室町長のご挨拶

佐藤泰弘森林管理署長のご挨拶

当協会の萩原一利会長の挨拶

作業に参加された皆さん

ウッドチップを担ぎ上げ

ウッドチップを遊歩道に敷均し

整備された遊歩道

取り替えた手すり